



栃木県立足利南高等学校

令和5年度 総合学科通信 第3号

No. 67
(2024/3/22 発行)

校長より

「新しい時代を生きる皆さんへ」



校長 麦倉 常治

世界は、情報技術の発展や人工知能のAIの登場など、便利さが大きく前進しています。一方で、地球温暖化を含む環境や資源枯渇、人口増加と、日本においては少子高齢化社会など、早急に対応が求められる課題も多くあります。その中で、国連では「我々の世界を変革する持続可能な開発のための2030アジェンダ」として「SDGs」を行動計画としています。人類に課せられた、「発展」と「課題」を意識し、よりよい未来を作るためのものです。私たちの生活する地球上には、貧富や環境、健康、平和、人権等、多くの課題があります。それらに対して、皆さん一人ひとりは、それぞれの考えや得意なことを活かして、アイデアを出

し合い、話し合い、協力して、世の中を豊かに発展させ豊かで幸せな世界を作ることが求められています。

そこで必要とされるものが、課題を見つける力と、それを解決する方法を考える力、さらにその行動をとる力となります。本校での総合学科での学びは、このような力を育むシステムをもっていると確信します。1年次の「産業社会と人間」で、自分の良さや特徴を知り社会でどう活かすかを考え、2年次の「ミニ課題研究」では、課題を見つけ研究を行い、3年次では「課題研究」として、生徒一人ひとりの自己課題解決能力と、プレゼンテーション力を発揮することをそれぞれ身につけます。

近い将来、足南高で身につけた力により、世界の現状から特定の課題を見出し、その解決に向けて仲間と協力し、行動をとるリーダー的存在となる人材が出てくることが大いに期待できます。

皆さんの足南高での学びは、皆さんの将来と、地球の未来につながっていきます。

1学年より

「1年間を振り返って」



1学年副主任 前橋 浩大

この時期になるといつも「あっという間に1年が終わる」と感じます。年齢を重ねるほど時間が早く経つと感じるこの感覚は、私だけかと思い調べると、この現象を「ジャンパーの法則」というそうです。簡単に言うと、50歳の人にとって、1年の長さは人生の50分の1ほどですが、高校1年生のみなさんにとって、1年の長さは人生の16分の1になるということです。

さて、24期生のみなさんは総合学科独自の科目「産業社会と人間」の授業を通して、自己の将来の生き方や進路について深く考えることはできたでしょうか。1学期は、スクールインターンシップや各種

講話がありました。2学期には、2・3年次の自分の授業の時間割を作りました。また、これからの自分の生き方をあらわしたライフプランを作成し、発表しました。3学期には、沖縄戦の映画鑑賞や社会人講話なども行いました。様々な活動に対して、友人と協力しながら積極的に取り組む姿に、みなさんの成長を感じました。

2年次の総合探究Ⅰでは、1年次で学んだ内容を充実・発展させ、ミニ課題研究等に取り組めます。学習活動の中で、自己の将来の生き方や進路について、納得いく答えを見つけ出していってくれることを願っています。



2学年より

「1年間を振り返って」



2学年主任 山田 英城

年度当初に新型コロナウイルス感染症が第五類に移行し、現在では生徒の学校での活動においても、コロナ前の状況に戻りつつあります。それでも罹患している人数は増減を繰り返しているため、引き続き感染防止を呼び掛けていきたいと思っています。

さて、今年度は大きな行事として、青南祭や広島、関西方面への修学旅行などを実施しました。青南祭においては、友人たちとクラスの企画を考え、互いに協力して準備や当日の運営に当たる姿が見られました。また修学旅行においては、平和祈念公園や資料館などの見学を通して平和の大切さを改め

て学び取り、班別研修においても事前に立てた計画に基づき、全員が時間を守って行動することができました。このように成長していく姿を見ることができたのは、御家庭での御協力があったからこそだと思います。この場を借りて改めて御礼申し上げます。

高校生活も折り返し地点を過ぎ、残すところあと一年となりました。いよいよ来年度は自分の進路を決める年となります。色々と思い悩むことが出てくるかもしれません。しかし、他の誰でもない自分の未来の事です。しっかり考え抜いて、色々な人からのアドバイスを聞いて、より良い結論が出せるように支えていきたいと思っています。引き続き、御家庭での御支援、御協力をお願いいたします。



3学年より

「3年間を振り返って」



3学年主任 天貝 恵美

総合学科第22期生125名、無事足利南高校を卒業していきました。これもこの学年に関わってくださったすべての方のおかげと思っています。今までのご指導に心から感謝の気持ちを述べたいと思います。ありがとうございました。晴れやかな顔をしてそれぞれの未来へと旅立った生徒たちの前途が輝かしいものとなることを切に祈っています。

「総合学科で学んでよかった」としてもらえるように、学校側は様々な機会を準備し、提供してきました。これらの機会から、何をどう学んでいくかは生徒の皆さん次第でもあります。総合学科アンケートでは22期生の多くが足南で学べたことに好意的であるとの回答をしてきていました。これは生徒た

ち自身が一つ一つの経験から何かを学びえたからこそであると思います。

1年次の『産業社会と人間』、2年次の『総合探究Ⅰ』、そして3年次の「総合探究Ⅱ」の時間を通して、課題発見能力、探究力、プレゼンテーション能力といったものを身につけることを目標にしています。また、知識を得るだけの受け身の学びだけではなく、自ら学び取る姿勢を養うことにも力を入れてきました。これらは社会において必要不可欠な力であると考えています。進学先や就職先で、あるいは地域のために、その力を発揮する機会に至る所にあるはずです。私たちは学校という場を離れても、何らかの形で一生学び続けていくのだと思います。これから日々の営みの中で疑問に思ったことを探究し続ける人であることを期待しています。22期生たちがこれからの人生においてどのようにその力を発揮していくのか楽しみにしています。



スポーツデイ

生徒会係 戸田 夏希



12月20日(水) 令和5年度スポーツデイが開催されました。天候にも恵まれ、絶好のスポーツデイ日和の中、男子がサッカー、女子がバレーボールを実施しました。結果は、3年2組がバレーボール優勝、3年1組がサッカー、そして総合優勝を果たしました。今回のスポーツデイでは、メンバー表の作成から当日の準備や運営、片付けまで生徒会役員と体育委員が中心となり行いました。係の生徒たちは行事を作り上げる大変さや達成感を味わったことと思います。また、クラスで思いのTシャツやトレーナーを作成したり、代表生徒による選手宣誓のパフォーマンスが行われたりと学校行事ならではの盛り上がりが見られました。さらには、人数が不足しているクラスに教員が加わり、生徒とともにボールを追いかける場面もあり、サッカー会場は賑わいを見せていました。

最後に、校長先生をはじめ、沢山の先生方のご協力により、無事にスポーツデイを終えることができました。本当にありがとうございました。

	サッカー(男子)	バレーボール(女子)	総合順位
優勝	3-1	3-2	3-1
準優勝	3-3	3-1	3-3
3位	1-4	3-3	3-2

総合学科発表会

総合学科係 渡邊 瑠美

令和5年度の総合学科発表会が令和6年1月20日(土)に行われました。午前中は、産業社会と人間、総合探究Ⅰ・Ⅱの代表者による発表が第1体育館で行われました。1年生は自分の描く進路や人生設計をまとめた「ライフプラン」を、2年生は「ミニ課題研究」を、3年生は各系列の代表者9名が「課題研究」を発表しました。1年生の時に自己の進路や興味に合わせて選択した科目、そしてその科目に基づいて2年次のミニ課題研究や3年次の課題研究に取り組み、希望の進路を実現していくという、3年間の総合学科での歩みが凝縮された発表だったと感じました。どの発表も個性豊かな内容であり、「課題研究」の発表は1、2年生にとって今後の参考になったと思います。

会場には保護者や中学生など、40名が足を運んでくださいました。またYouTubeでのライブ配信のアクセス数は29でした。外部の方にも本校の特色ある学びや取り組みを発信できる、良い機会だと思います。来年度もこれまで以上に充実した発表会になるよう努めてまいります。



講座発表会

学習指導部長 森 紀子

令和6年1月20日(土)、令和5年度の講座発表会が、総合学科発表会の午後の部として実施されました。講座発表会とは、芸術や技能習得分野の講座選択者が、1年間の授業を通して身に付けた学習内容を発表する場として行われています。以前は第1体育館で作品展示とステージ発表を実施してきましたが、新型コロナウイルスの流行に伴い、ステージ発表の代わりに事前収録した動画を教室で視聴する形に変わりました。

第2体育館には、美術や家庭科の作品に加え、1年次の産業社会と人間、2年次の総合探究Ⅰ、3年次の総合探究Ⅱの研究結果がパネルや長机に展示されました。また、動画に収められた講座は、演劇Ⅰ・演劇、器楽Ⅰ・Ⅱ、声楽Ⅰ・Ⅱ、音楽Ⅱ、体育(ダンス)、スポーツⅠ、情報デザイン、生活と福祉です。動画視聴に変えたことで、スポーツⅠのマット運動や跳び箱、情報デザインのポスター制作、生活と福祉のベッドメイキングと、様々な場所で授業の成果を撮影し、発表できるようになり、発表の講座数が増えつつあります。また、第2体育館の展示発表はクラスごとに見学しましたが、生徒たちは見学時間が過ぎても熱心に展示物に見入っていました。

新型コロナウイルスの感染対策で形を変えつつも、さらに充実した講座発表会になるよう今後とも努めてまいりたいと思います。



特色のある授業

「デザインの仕事に関する出前授業」

芸術科 相馬 弥生



「美術Ⅱ」の授業を選択している生徒に対して、12月19日(火)にフリーランスデザイナーの相馬麻耶さんにデザインのお仕事について、相馬さん自身の仕事について事前に生徒たちから寄せられた質問に答えていただきました。また、お仕事と同様、お客様からの要望に対して、どのようなキャラクターやどんな色を使って提案するのか、制作ともに、最後はデザインについて言語化し、発表を行いました。興味深いお話と制作を通して体験的にデザインのお仕事を学ぶことができました。



「テーブルマナー講習」

家庭科 柳田 果穂



足利市南町のラ・ベルビューにてテーブルマナー講習会を実施し、「マナー研究」を選択した3年生15名が参加しました。授業では、動画やテキストを使用して食事のマナーや礼儀作法を学習しています。素敵なレストランでカトラリーやナプキンの扱い方を丁寧に教えていただき、緊張した様子でお話を聞きました。フランス料理のフルコースが運ばれてくると、徐々に慣れ、マナーを守って料理をおいしくいただくことができました。



「フラワーアレンジメント講習」

家庭科 関 悠美子



2、3年生が選択している「伝統文化」の授業で、フラワーアレンジメント講習会を実施しました。普段の授業では茶道を中心に学習しているので、生徒にとっては初めての経験となりました。今回は5種類の生花を使用して、フラワーアレンジメントを行いました。花切り用のはさみや生花の扱いに戸惑いながらも、一人ひとりが思いのこもった素敵な作品を作ることができました。これをきっかけに、新しいことにどんどん挑戦してほしいです。



発行：栃木県立足利南高等学校

教務部広報係

TEL：0284-72-3119(事務室)

FAX：0284-73-2772

TEL：0284-72-3118(職員室)

http://www.tochigi-edu.ed.jp/ashikagaminami/nc2/index.php?action=pages_view_main

